

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年10月19日（木）17：20～17：40
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ

技術基盤課

佐々木企画調整官、藤澤技術参与（テレビ会議システムによる出席）、戸田係員

システム安全研究部門

小嶋統括技術研究調査官

検査グループ

専門検査部門

宮崎企画調査官、南川上席原子力専門検査官（テレビ会議システムによる出席）

原子力エネルギー協議会（ATENA） 理事 他10名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部

耐震設計グループ グループリーダー 他3名

九州電力株式会社 原子力本部 原子力発電本部 原子力建設部長 他4名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備耐震グループ マネージャ 他1名

日本原燃株式会社 再処理事業部 副事業部長 他5名

リサイクル燃料貯蔵株式会社 貯蔵保全部 土木・建築担当 他1名

関西電力株式会社 プラント保全技術グループリーダー

東京電力HD株式会社 原子力事業本部

原子力技術部 設備技術室 マネージャ 他10名

東北電力株式会社 原子力部 課長 他3名

中国電力株式会社 電源事業本部 炉心技術グループ 副長 他6名

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

原子力計画部 原子炉計画グループ 主任技師 他1名

株式会社日立製作所 原子力制御システム設計部 他3名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 品質保証部 主席技師 他2名

東芝エネルギーシステムズ株式会社 パワーシステム事業部

パワーシステム生産統括部 溶接技術グループ エキスパート

5. 要旨：

<設計・建設、材料及び溶接に係る日本機械学会の規格の技術評価>

- 令和5年10月12日に実施した面談において、原子力規制庁から、溶接規格（2020

年版)に関する課題を資料としてとりまとめ、ATENAに配布した。その際、説明が必要であれば次回以降で説明する予定であることを伝えていた。

- 原子力規制庁から、資料1に基づいて、前回の課題に対して補足した箇所にも触れながら説明をした。
- ATENAから対応する旨の発言があった。

<デジタル安全保護系の共通要因故障対策>

- ATENAから資料2-1及び2-2に基づいて、第9回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム会合の資料案について説明を受けた。
- 原子力規制庁から、資料について、第8回会合での議論の内容とそれを受けた対応が分かるよう記載を充実するよう伝えた。
- ATENAから対応する旨の発言があった。

6. 配布資料：

資料1 溶接規格2020年版の運用に関する説明依頼事項

資料2-1 第9回公開会合ドラフト版資料 デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策の自律的対応について

資料2-2 柏崎刈羽原子力発電所7号機デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策に係る設計変更について